

早稲田大学 環境資源工学会報

発行者：環境資源工学会
編集者：総会幹事団
編集長：会報部



三つの提言 定年に際して 教授 不破 章雄 (71年卒)



環境資源工学科のOB、OGの皆様、こんにちは！歴史ある学科なので、かなりお年を召された方から、最近の若い方まで、学科の卒業生の会には多様な方がおられると存じます。そして、それこそ多くの人生を著実に歩んでおられることと存じます。戦中、戦後は、石炭鉱山が日本の基幹産業で、大企業も多数ありました。戦後、いわゆる、石油へのエネルギー転換、そして、金属鉱山も沢山ありましたが、それらも、人件費の高騰、資源の枯渇で衰退してしまいました。鉱山学科の時代の卒業生は卒業後、かなりの苦勞をされたことは容易に想像できます。金属鉱山を母体とする企業は、その後、海外進出を試み、また、産業編転換を図っており、引き続き活躍している企業もあります。工学科での宿命ですが、産業の動向に依りて、大学の教育専門分野も変革していくものと存じます。石炭や金属鉱山に携わった方は、今となっては、それ程は多くおられないと存じます。

現在、学科は環境資源工学科と称して、資源分野の学問、技術に基づく環境分野の教育や研究をやっていることはご承知の通りです。私は早稲田大学理工学部で再就職して、37年になりますが、OB、OGの方々に、少し、馴染みがないかと存じます。借越ですが、少し、自己紹介したいと存じます。2007年の理工再編時に、当時の材料系学科の「物質開発工学科」の発展的解消に伴い、私の専門分野が非鉄金属製錬であることから、環境資源工学科の教員の一員に加えて頂くことになりました。この10年間、環境資源工学科の学生たちにも材料の初歩的な基礎的教育を行って参りました。

私の37年の教員生活からの提言は次の3つであります。1つ目は、理化学、人文・経営系の学問分野に比べ、より現実的で経済と密接に連携している理工系の学科においては、社会の動向や若人の関心、興味、就職先に対応して、学科の運営をなさねばならないと存じます。2つ目は、大学生人口が5割にも達する現代においては、4年間の学部教育においては、少なくとも当初の3年間では、基礎教育、すなわち、数学、化学、物理、基礎情報工学の教育を充実させ、4年生もしくは大学院から専門教育を行うべきであらうと存じます。すなわち基礎教育の充実が、これからの理工学教育の基本であり、長い人生で仕事に通じるものと存じます。3つ目は、英語教育はTOEICによる定量的な評価がありますが、同様のものを物理、化学、情報にも導入して、適切な評価を行うことが肝要と存じます。

し、学生の自信にも繋がり、卒業生の活躍の場も広がるものと存じます。この定量的な評価をすることによって早大理工の社会的な評価も上がると存じます。これまでの日本の良さに加えて、さらに国際的な国家や個人になるためには、教育は重要な役割を担っていくことは自明です。これからの学科の発展、理工学部の展開、そして卒業生のご活躍を願っております。

3つの提言 ・ 社会の動向や若人の関心、興味、就職先に対応した学科の運営 ・ 基礎教育の充実 ・ 物理、化学、情報への定量的な評価の導入と適切な評価



不破章雄教授退職記念祝賀会

不破研出身者は優秀です！ 不破先生の御退官にあたって 水野 耕作 (15年卒)



不破先生、この度は、御退官を迎えられます事誠に慶び申し上げます。在学中、不破先生には大変お世話になりました。私は、黄銅鉱の湿式製錬の基礎研究ということで、先輩と日々悩みながら研究を続けておりましたが、先生にもその難しさを理解して頂き、様々な助言を頂きました。

「初め苦勞することをやれば、その先が楽になるぞ！」と何度か激励を頂き、毎週の個別ゼミ、月1回のゼミでも親身に相談に乗って頂きました。時には厳しく指導された事もあり、学部4年生の頃のゼミ合宿で私が発表した時には1時間程先生に怒られながら発表をしたことをよく覚えております。無事卒業できましたのも、これら不破先生の助言があったからこそだと思います。

就職した後でも、不破先生のお力に触れることが多く、不破研出身者には優秀な奴が多いと周りから言われる事もあり、プレッシャーを感じながらも先生の偉大さに気づかされるばかりで、事実不破研出身の上司が多くなるように感じます。

不破先生の功績は今後も引き継がれていくと信じております。私も身も不破研究室の名を汚すことが無い様に今後奮闘していききたいと思います。不破先生、本当にありがとうございました。長い間、お疲れ様でした。また、今後ともどうぞよろしくお願致します。

不破研最後の卒業生として！ 不破先生の御退官にあたって 角川 和也 (大学院進学予定)



この1年間、不破先生には大変お世話になりました。私の研究テーマは、新しいテーマで先輩がいなく、実験装置を作成するところから始まりました。不破先生の口癖は「早く大人になれ」で、本配属前の学部3年時の3月に1人で他大学の研究室に行き、実験装置について聞くようにと言われた時はとても戸惑いましたが、その経験のお陰で度胸がつかえました。研究に関しても先生の意見を尊重して下り、自由に実験計画を立てさせて頂いたことで、実験、研究を進めるにあたる要領をすくにつかむことが出来ました。また、学生によって、製錬関連の実験から量子力学的プログラミングなど幅広い分野の研究をさせて頂きました。

学問に関しても多くご指導を頂きました。夏休み、私を含む学部4年生の2人のために状態図の講

義をして下さったことはとても感謝しています。また、学問以外にも、不破先生は自らの経験談を多く話して下さいました。不破先生のお話は、どれも興味深く、これからの長い人生を生き抜いていく上で貴重なお話しばかりでした。

不破先生はとても権威のある先生であると感じます。1年間という短い期間ではあるものの、そのような先生のもとで研究ができたことはとても幸運であります。不破先生の最後の卒業生として、誇りを持って、大学院、社会では邁進していきます。不破先生、この度は御退官を迎えられることを心よりお慶び申し上げます。1年間ご指導ありがとうございました。

環境資源工学会寄附講座 「環境資源と社会」について 馬場 滋 (79年卒)



「環境資源と社会」は昭和シェル石油・前社長の新井純氏の発案によって誕生した、環境資源工学科一年生の必須科目です。

環境資源工学科を卒業して各分野で活躍されている方々を講師に迎えて「環境資源と社会」というオムニバス形式の新科目を十五年度より開設。十六年度より「環境資源工学会の寄附講座」として関連分野における概要を知ると共に、環境と企業との類似点・相違点を実感してもらうことを目的にしています。また学生たちは、企業のトップの方達の話や聞き、触れ合う機会がそうそうなく、環境資源工学科の看板科目としても注目を浴びており、学生達にも評判が良いと聞いています。

十五・十七年度は冒頭の新井氏を中心に、ほぼ同じ講師陣で講義を行います。しかし、折角の環境資源工学会寄附講座です。どんどん新しい講師陣を迎えるべきです。改めて自薦・他薦をお願いします。講義のタイトルの一部を左記にご紹介します。

- ・ エネルギー転換はどのようにして起こるか
- ・ 太陽光発電システム の現状と展望
- ・ 資源産業の近代化
- ・ いかに地中熱を日本に普及させるか
- ・ 見えぬ巨大水脈 地下水の科学
- ・ また、二〇一六年は創造理工学部全体の一年生の必須科目である「創造理工学部」の講義も環境資源工学会有志で行いました。「二十年後の未来」をテーマに、ITやAIの進化によって産業構造や私たちの働き方がどう変化するのかを、創造理工学部の学生たちに考えて頂きました。

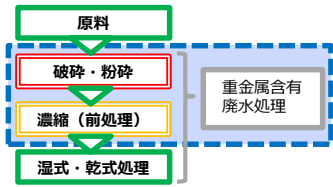
今後、学科・学部、そして早稲田と積極的に関わっていきたいと思います。



2015年度 徳植講師の授業風景

～ 環境調和型鉱物処理/リサイクル技術の開発と社会実装 ～

一般的な金属処理フロー



いわゆる「前処理」と呼ばれる金属処理プロセスの高度化・最適化を、固体分析技術や粉体シミュレーションなどを駆使して達成し、「環境調和型の鉱物処理/リサイクルプロセスの確立」に寄与したいと考えています。

5年後のビジョン

各種高度前処理技術の機構解明・新規開発

10年後のビジョン

広域シミュレーション/LCA評価等との組み合わせによる高度技術の社会実装

20年後のビジョン

環境調和型リサイクル技術を社会実装するための新たなモデルや技術の発信

・ 廃水処理の高度化

- Ca系/Mg系/Fe系/Al系/Ce系処理材によるB/F/Se/As/Cr/Zn/Pb/Cd等除去の高度化
- 固液界面における有害元素不動態機構の解明と沈殿形態制御
- Al系/Si系/Mg系無機凝集剤による凝集機構の解明
- 水域シミュレーション/化学平衡計算/表面錯体モデル連成による廃水発生/処理機構の解析

・ 難処理鉱石/2次資源に対する分離・濃縮技術の高度化

- 高濃度忌避元素を含む難処理鉱石からの単体分離促進プロセスの開発
- 特殊粉砕による単体分離促進/リーチング促進
- 太陽光パネルのリサイクルプロセスの開発

・ 粉体操作へのDEMシミュレーションの応用

- 粉砕/混合/造粒操作へのDEMシミュレーションの応用と装置最適化
- DEMと流体解析/磁場解析/付着力形成の連成開発



- ・ 学部生は平均1-2回、大学院生は平均4-5回国内外の学会で発表を行っています。毎年、複数の学生発表賞を受賞しています。
- ・ 外部機関との共同研究が多く、学生の成長の機会の1つとなっています。
- ・ 留学生が多く在籍し、学生が国際貢献に参画する機会も増えてきました。

研究室紹介

資源循環工学分野

環境資源処理工学研究室

所 千晴 教授
Tokoro Chiharu



～ 地球環境と調和したエネルギー資源の開発 ～



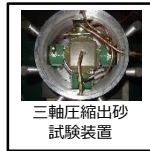
・ 研究の概要

近年、大水深油田やシェールガス・オイル、コールベットメタンなどの非在来型資源の開発が進められています。深海での石油開発や水圧破砕法を用いる非在来型資源の開発は難易度が高く、環境への負荷も懸念されています。一方で、地球温暖化対策として温室効果ガスの削減が議論されるなか、石油開発や天然ガスの地下貯蔵で蓄積された技術は二酸化炭素地下圧入・貯留に利用できる最も実用的な技術として注目されています。当研究室では「ジオメカニクス」、「石油生産工学」、「数値岩盤工学」の知見からエネルギー開発における操業の最適化及び安全性向上のために、掘削・坑井仕上げ・生産（圧入）・貯留に関する開発技術の研究を行っています。

・ 現在の研究活動

「次世代のエネルギー」、「安全・環境」、「ジオメカニクス」の三つのキーワードに注目した研究を行っています。

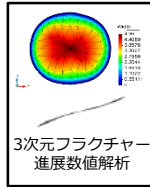
✓ 「次世代のエネルギー」 - 大水深油田での鋼管破壊現象の解明、非在来型炭酸塩岩層でのフラクチャー酸処理法の研究、メタンハイドレート層などの未固結砂岩層における出砂に関する研究（右上図）、水圧破砕法を用いた地熱資源増産システムに関する研究を行っています。



三軸圧縮出砂試験装置

✓ 「安全・環境」 - 真岩の膨張を考慮した坑井安定解析モデルの開発、流体地下圧入による誘発地震に関する研究、SAGD操業における帽岩の健全性評価及び水蒸気漏洩メカニズムの研究を行っています。

✓ 「ジオメカニクス」 - 水攻法における熱応力の影響を考慮したジオメカニクスシミュレータの開発、多段型水圧破砕法設計のためのき裂進展モデルの開発（右下図）、フラックバック坑井における流量増進手法の開発、岩盤変形と油層シミュレーションモデルの連成解析に関する基礎研究を行っています。



3次元フラクチャー進展数値解析

・ 今後の展望

2017年度は研究室がスタートして3年目になりますが、外国人留学生を積極的に受け入れ、国外の研究機関との共同研究もスタートする予定です。

研究室紹介

開発環境工学分野

岩盤・石油生産工学研究室

古井健二 准教授
Furui Kenji



～ 環境への曝露の把握とリスクの低減 ～

・ 研究対象

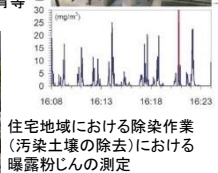
環境の測定や評価・改善をとおして、環境への曝露状況の把握や、それによるリスクを低減する技術が研究対象です。具体的には光触媒などを利用した環境リスク低減手法とそのメカニズムの解明や、ヒト健康へ有害影響を与える物質の測定・評価法の開発、大気中エアロソルの実態解明、我が国の現状に応じた有害物質取り扱い作業場のリスク管理などの研究を行っています。

Anticipation and recognition:
環境リスクの的確な把握

富士山における
PM_{2.5}, PM₁₀の計測

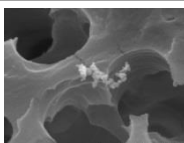


個人曝露濃度と
作業状況との
同期モニタリング
→曝露状況把握
作業教育等



住宅地域における除染作業（汚染土壌の除去）における曝露粉じんの測定

Evaluation: 目的や状況に応じた精度の高い測定と評価



ダイヤモンド工具による
切断時の発生粉じん測定



現場に浮遊するリフラクトリセラミックファイバーの測定

Control: 気中有害物質に対する、種々の触媒などをを用いた分解除去による省エネルギー低コストの発散防止抑制方法、有効な曝露防止対策



光触媒を利用した有害物質の分解除去



屋内排気型外付け式フードの性能評価実験



防じんマスク内の漏洩粉じんの測定

研究室紹介

開発保全工学分野

環境安全工学研究室

村田 克 准教授
Murata Masaru



学生の皆さんへのメッセージ

実社会での体験に勝る勉強はないと思います。研究を極めることも大切であると認識しつつも、

一日も早く社会に出る覚悟と心意気を持って欲しい。



実社会、実ビジネスはまさに一日一日が新たなチャレンジの連続です。でもこのチャレンジに果敢に立ち向かい克服することで自分では気が付かなくても顕著な成長が確実にある筈です。

実ビジネスというワンダーランドで貴君達と会い塗れる機会を得ることを楽しみにしております。

挑戦

私自身は勉強が不得意であつたこともありますが、大学3年生頃から早く働きたくてしょうがなかった記憶があります

OB・OGからのメッセージ

85年卒
平野 敦彦
Hirano Atsuhiko



OB・OGからの
メッセージ

81年卒
富永 佳晃
Tominaga Yoshiaki



学生の皆さんへ

太平洋セメント株式会社
執行役員資源事業部長

実社会では程度の差はありますが、失敗の連続であり、完璧な成功はまずありません。失敗からどれだけ学び、成長できるかが重要です。積極的に新しいことにチャレンジし、多くの失敗をして下さい。
⇒自ずと道は開けます。



失敗から学ぶ！



GOAL

学生のうちに
やってもらいたいこと

人生は色々な人とかわる事で成り立っています。学生時代は自由に出来る時間が沢山あります。色々な経験、色々な人との交流を積極的に行ってもらい多様性を受け入れる素地を形成してもらいたい。

アルバイト

ボランティア

海外留学

サークル活動



変化の早い社会に
対応するために！！

OB・OGからの
メッセージ

79年卒
馬場 滋
Baba Shigeru



馬場から伝えたい気持ち

① 日新 日日新（日に新た 日々に新た）

- 出展は中国の古書「大学」で、私たちの大先輩、土光敏夫氏の座右の銘です。「今日という日は天地開闢以来、初めて訪れた一日。誰にも皆平等に訪れる。その一日を有意義に過ごしたい。そのために、その行いは昨日よりも今日、今日よりも明日、新しくしなければならぬ。と云う意味があるそうです。この1秒、この1分は二度と来ない時間なのです。光り輝いている今日という一日を、そして「今」を大切にしてください。

② 人生の選択技

- 大事なものは、最後は自分で決断すること。そして、その決断を後悔しないこと。一度決めたことは、最後まで貫き通すこと。私の人生、これで良かったのかどうか。分かりません。しかし、自分が下した決断に後悔はしていません。

③ 真摯であれ

- 人間として誠意を尽くし、相手を敬い、相手の話をきちんと聞く。人として、ビジネスマンとしての基本をきちんと守る。人間関係は、ここから始まります。皆さんも嫌いでしょ。嘘をつく人。約束を守らない人。好きになんて欲しないなら、まず、「真摯」という言葉を思い出してください。

④ 直向きであれ

- 直向きに相手と向き合ってみてください。誠意を尽くし、相手の真意を1時間聞き、自分の思いをきちんと相手に伝えれば、必ず何かが見えてくるはずです。一番寂しい人生、それは気持ちを伝える相手がいないことかも知れません。

⑤ 自己を見つめよ

- 自己を見つめることは必要です。自己を知ることにも必要です。でも、自分を卑下することもないし、自分をダメ扱いする必要もありません。自分は自分として生きろかなのだし、親からもらった一度だけの大切な命なのです。嫌いなところがあるのだから直せば良いのだし、他人からこうみられたいと思ったら、そうすれば良いではないですか。変えられるから人間なんです。

⑥ 自己を深めよ

- 少ないかもしれませんが、この中の何人かは営業という仕事につくと思います。お客様は基本的に私は私が働きます。どんなお客様にも合わせられる奥の深さを身につけることが、営業という仕事に一番求められるのです。でも実は営業という職種に限ったことではありません。社会人に最も必要なことでもあるのです。

⑦ Speak English

- どんな職業に就こうが、これからの世界は英語が話せることが必須になるでしょう。ではどうしたら英語が話せるようになるのか？それは一にも二にも、慣れること。恥ずかしがらずに、とにかく話すこと。強制的に英語を話す環境に身を置くか、外国人の友達を作るのが最も早いです。

⑧ 外に出でよ

- 日本の外に出て下さい。色々な国に行き、色々な人と話をして下さい。海外経験がある人生と、日本にいるだけの人生は180度違います。

⑨ ホスピタリティ

- シンガポールの世界最高のお持てなしをしてくれると云われているラッフルズホテルに二人で泊まり、「自分だけが特別扱いされている“また”お客様として本当に大事にされている」という気持ちにさせてくれる素晴らしいおもてなしを受けました。人をもてなす心をホスピタリティと呼び、人を心地よくし、何かを好きになる源です。みなさんもホスピタリティをぜひ身に付けてください。

⑩ コンプレックス万歳

- 二十代までは、顔デカと短足でコンプレックスの固まりでした。どうすればモテようになるのか。当時は、真剣に考えました。結局、自分を磨くしかない気がついた頃には、30歳近くになっていました。自分を磨くことで、今の奥さんと出会い、結婚し、その後は身体のコンプレックスをほとんど感じなくなりました。自分を磨く努力を続けたことで、今ではどんな美女でも、気後れすることなく話せるようになり、飲みに行く女友達もいます。それもこれも、コンプレックスがあったからです。外見に優れた方は、努力する必要はありませんから。だからコンプレックス万歳です。言っておきますが、今でも奥さんは大好きです。週に1回は、二人で食事にしています。

⑪ ハートビート

- 夢中になれることを作ってください。夢を追いかける人生ほど、楽しいことはありません。夢があれば、挫折しても、心が折れそうになっても頑張って生きていこうと思えるのです。私が社員にいつも伝えているモットーは「強き心と笑顔」です。……実践することは大変ですが。

⑫ 不可能なんてないのかも

- 不可能と思ったら、それで終わりだと言うことです。自分で壁を作ってしまったら、それ以上に進める訳がありません。陸上競技が一番良い事例だと思います。あと1秒縮める、あと1M飛ばす。そのために血の滲むような努力を、日々続けているのです。これ以上無理だと思ったら、続けることはありません。不可能(ムリ)という言葉は、自分に対する言い訳なのです。

2016年度就職・進路

●学部卒業 77名 【就職21名】

- 重松製作所(1)
- (株)リオ・ホールディングス(1)
- 住友商事グローバルメタルズ(株)(1)
- (株)ウフル(1)
- 富士フィルムメディカル(株)(1)
- 日本精工(株)(1)
- 三井住友海上火災保険(株)(1)
- エイエスアール(株)(1)
- 新日鐵住金(株)(1)
- 三井住友信託銀行(株)(1)
- 秋田銀行(1)
- 三菱電機(株)(1)
- 日本IBM(1)
- 伊藤忠エネクス(株)(1)
- (株)ワークスアプリケーションズ(1)
- 日本電気(株)(1)
- プレデンシャル生命保険(株)(1)
- ソフトバンク(株)(1)
- 長野都市ガス(株)(1)
- 丸紅(株)(1)
- 三菱電機(株)(1)

●修士課程修了 55名 【就職46名】

- (株)サクラ・アイ・ディー(1)
- ワークス アプリケーションズ(株)(1)
- 水ing(株)(1)
- 三菱マテリアル(株)(1)
- 出光興産(株)(1)
- 三井石油開発(株)(1)
- 雪印メグミルク(株)(1)
- 新日鐵住金(株)(1)
- (株)フジテレビジョン(1)
- (株)ダイヤコンサルタント(1)
- 旭鉦末(株)(1)
- トヨタ自動車(株)(1)
- JFEスチール(株)(3)
- 日本テクノ(株)(1)
- 石油資源開発(株)(2)
- 日本工営(株)(1)
- 電力中央研究所(1)
- セイコーエプソン(株)(1)
- ライオン(株)(1)
- 国際石油開発帝石(株)(1)
- エクソンモービル・ジャパン合同会社(1)
- 横河電機(株)(1)

- 独)石油天然ガス・金属鉱物資源機構(2)
- 森村商事(株)(1)
- 本田技研工業(株)(1)
- (株)SUMCO(1)
- UDトラック(株)(1)
- 国際航空(株)(1)
- 積水ハウス(株)(1)
- 大阪ガス(株)(1)
- 日清エンジニアリング(株)(1)
- 東京都(地方上級)(1)
- ソニー(株)(1)
- 住友商事(株)(1)
- 千代田化工建設(株)(1)
- キヤノン(株)(1)
- 三菱マテリアル(株)(1)
- 札幌テレビ放送(株)(1)
- 東洋エンジニアリング(株)(1)
- 信越化学工業(株)(1)
- 三井埠頭(株)(1)
- 日本電気(株)(1)

2016年度 実務研修受入企業

- 国際石油開発帝石(株)
- 関東天然瓦斯開発(株)
- JX金属(株)
- 住友金属鉱山(株)
- 三菱マテリアル(株)
- 太平洋セメント(株)
- リーテム(株)
- エコスタップ(株)
- 日本原子力開発機構
- 産業技術総合研究所
- 国立環境研究所
- 埼玉環境科学国際センター



第4回資源杯ゴルフ



環境資源同窓生有志が集うゴルフコンペ「資源杯」が3月4日に新千葉カントリー倶楽部で開催されました。

第4回目の今回は、1976年卒境さんから2004年卒源河さんまで、幅広い年代の16名が集まり、プレーと懇親会を楽しみました。春と秋に開催されますので、ゴルフをされる方は是非お気軽にご参加ください。



環境資源稲門会を立ち上げました



環境資源工学会の事業委員会の活動の一環として校友会との連携を強化する目的で「環境資源稲門会」を発足。この度、校友会への登録を完了しました(稲門会番号 E02G03)。今後、環境資源工学会と一緒にいろいろな活動を行っていききたいと思います。よろしくご協力のほどお願い申し上げます。

会員募集中

- ▶ 初代役員
 - 会長 川崎 秀憲 (1982年 伏見研)
 - 副会長 坂本 大 (1993年 野口研)
 - 事務局長 源河 悠輔 (2004年 大和田研)
- ▶ 今後の活動予定
 - 稲門会旗作りです！(総会にてお披露目予定)
 - 早稲田学報などにも寄稿していきます
 - HP、Facebookも順次立ち上げていきます

箱根駅伝を応援する会

大手町で応援(第一部)

TV観戦で応援(第二部)

場所を屋内に移し、テレビの箱根駅伝を着に酒に酔い、皆で持ち寄った料理(おせち料理、鍋、ローストビーフ他)に舌鼓打ち、宴会モードで今年を楽しみ語り合う！第5区のランナーがゴールするのを見つけた後、皆で近くの神社へ初詣！今や約20年越しの恒例行事となりました。

1月2日の早朝、箱根駅伝を応援する会の物好きな旧資源工学科の面々が大手町に集結！(大和田教授、前川会長、馬場理事、一木社長他S53、S54年卒が中心の有志約10人)各大学の応援合戦に参加。早稲田応援団、チアガール、楽団と共にエール、校歌、応援歌で熱く母校を応援します。



20kmの苛酷な距離に挑み、母校の譽をつなぐ責任と重圧！

駅伝に真剣に立ち向う若者達を、あなたと一緒に応援しませんか！

会長からのご挨拶

環境資源工学会会長の前川(79年卒)です。

昨年の総会には200人を超える会員に参加いただき、会員/学科/学生との大変有意義な交流の場となりました。また、環境資源工学会奨学金基金には99人の会員より計324,000円の寄付を頂き、学生2名に各30万円の奨学金を送ることができました。さらに、一昨年度より実施しています卒業生による学生への講義は、昨年度から正式に提携講座(環境資源と社会)となりました。これらの活動は全て、会員の皆様のご理解ご協力の賜物です。心より御礼申し上げます。

転勤等で住所変更された方、また当会からの電子メールによるご案内が届いていない方、お手数ですが当会のホームページより、住所変更届/メールアドレス登録をお願いします。

早稲田大学 環境資源工学会 ホームページ
<http://w-shigen.sakura.ne.jp/index.php>

二〇一七年環境資源総会のご案内

日時：6月17日(土) 13:30~19:00

第二部：環境資源関連講演

講演者：テーマ紹介



村田 克 89年学部卒、94年博士号取得。助手着任後、財団法人労働科学研究所研究員。16年から早稲田大学准教授。

「環境リスクの研究と教育」

環境影響をリスクとして捉え、取り扱うことは大切である。環境資源工学科における環境リスクに関わる研究と教育について紹介する。



坪内 睦 85年学部卒。青年海外協力隊理数科教員着任後、91年レディング大学修士課程修了。現在教育開発コンサルタント。

「アジア・アフリカの開発を通じた開発の発展」

アジア・アフリカを中心に二十数カ国で教育開発の専門家として活動。文化的背景によって異なる開発の常識・概念に感動の経験語る。

第三部：特別講演

講演者：テーマ紹介



詩歩 12年早大卒。書籍「死ぬまでに行きたい！世界の絶景」シリーズの出版等、フリーで活動中。

「死ぬまでに行きたい世界の絶景を探して」

大学卒業後一般企業に就職し、その後独立して「絶景の仕事」をするに至った背景と、国内外の絶景を通じて感じた環境問題について語る。

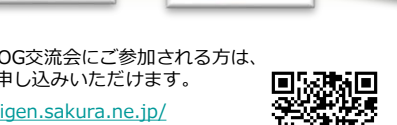
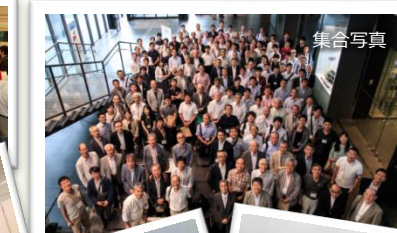
第四部：懇親会

詩歩さんのFacebookはこちら



お酒を酌み交わし旧友と懐かしい話を語り合うもよし、先輩、後輩、先生方と親睦を深めるもよし、心ゆくまで盛り上がりましょう。

2016年環境資源総会の様子



環境資源工学会OB・OG交流会にご参加される方は、下記WEBサイトからお申し込みいただけます。

<http://www.w-shigen.sakura.ne.jp/>

ユーザー名：resource
パスワード：waseda1909



編集後記

今年の会報はいかがでしたでしょうか？例年の会報とは少々趣を変え、環境資源工学科のOB・OGのみなさんと学生のみなさんを結びツールとなるように、内容やレイアウトを大幅に変更させて頂きました。

また環境資源工学会総会もユニークな講演者をお呼びし内容の充実を計ると共に、現役のチアリーダーの熱い応援を受け、華やかにかつ楽しい総会となるよう幹事一同奮闘しております。ひとりでも多くの方に総会にご参加頂き、楽しいひとときを一緒に過ごせるよう心より願っております。ぜひ総会にご参加ください。(会報部)